



Ｑ：サッカーを始められたきっかけは？

内藤：幼稚園の時に転入してきた子と仲良くなり、その子がサッカーが好きで一緒に遊びだしたのがきっかけです。その幼稚園の先生もサッカーが好きで幼稚園にサッカーチームも出来ました。

駒井：幼稚園のときに遊び感覚でボールを蹴りだしたのが始まりでしょうか。その流れで小学1年生の時に地元のチームに入りました。

Ｑ：内藤選手は神奈川のご出身ですか？

内藤：小学校3年までは大阪の箕面市に住んでいました。それから家の事情で神奈川県へ引っ越しいたしました。

Ｑ：高校の時の成績は？

内藤：冬の全国大会で3年生の時に出場しベスト16が一番良い成績でした。ただ関東の大学には行く事が出来ず、立命館でサッカーをする事になりました。

Ｑ：駒井選手は学校でのサッカーではなくずっとサンガですね？

駒井：小学校4年でジュニアに入らせてもらってそれからU-15、U-18と進みました。

Ｑ：高校サッカーもテレビで扱われていますしどうでしたか？

駒井：観ていてうらやましと思いましたが、レベルはユースの方が上だと思って

Yoshiaki KOMAI

22 駒井善成

1992年生まれ。京都府出身。京都ジュニア・京都U-15・京都U-18と京都筋。2010年10月にトップ登録。今シーズンの開幕戦にはベンチ入り出来なかったが、4月30日の栃木戦で途中出場ながらJリーグ初出場を果たす。得意とするドリブル突破を武器に、両サイドからチャンスを演出する攻撃的ミッドフィルダー。シュート力も兼ね備え、積極果敢にゴールを狙い、7月18日の愛媛戦でJ初ゴールを決めている。

いますので、クラブチームでサッカーをしてきた事に自信を持っています。ユースの大会で優勝もしましたし、最後の大会でも3位です。

Ｑ：内藤選手は開幕スタメンでしたな？

内藤：プレシーズンで試合をつんでいたのが開幕だからという特別な感覚もなく、プレッシャーもありませんでした。もともとプレッシャーのかからないタイプなので、次の日に新聞やニュースで自分が出ているのを見て、Jリーガーなんだって思ったぐらいです。

Ｑ：駒井選手は残念ながらベンチ入り出来ませんでしたね？

駒井：ベンチ入りも出来なかった事は、やはり自分の実力がまだまだ足りないし、しっかりと練習を積んで、結果を出していこうという気持ちがあったので、そんなに焦りはありませんでした。

Ｑ：キャンプも順調でJ1相手のプレシーズンマッチも良い感じでしたが開幕してからなかなか結果が出ず苦しいスタートとなりましたね？

内藤：これまでの結果がすべてを物語っていますが、1月の始動からやってきた事は何も変わっていないですし、目指すサッカーを継続してさらにレベルアップするようにやってきました。その事に迷いはありませんし、ここ最近ようやく結果が出てきた感じがします。これを続けて行く事が大事だと思います。

Ｑ：チームキャプテンであったディエゴ選手が期限付き移籍となりましたが？

内藤：ディエゴ選手の存在は大きかったですし、彼の持っているポテンシャルは高いものがあります。ただ私たちは彼に依存していた訳でもありませんし10代の選手がゲームに出て活躍出来る実力のある選手がそろっているので、監督が求めているチームとしてやるべき事をこなせる選手がゲームに使われるということだと思います。誰が出てチーム力が落ちない、誰でも出場するチャンスがあると監督もおっしゃってます。新人が名前負けせずポジションを取りに行くことが



チーム力のアップにも繋がると思っています。

駒井：ディエゴ選手の得点能力やパスの質などは本当に素晴らしいものがあります。ただ僕たち若手もそれに負けないようしっかりと練習を積み、競争の世界です。チームの中でポジション争いがあることがチームの成長に繋がる事だと思っています。

Ｑ：シーズンはまだ途中、後半に入ったところです。残りの試合をどのように戦いますか？

内藤：まず結果が求められる職業で結果を出すのが僕たちの務めです。その結果にこだわって全力をつくしていきます。チームとして苦しい状況も経験しましたし、これ以上下はない状況ですから這い上がって行くしかないと思っています。やるしかない状況です。ので残された試合をみんなの力で戦えば、必ず良い結果がついてくると思います。

駒井：サポーターの皆さんはJ1にすぐに上がってくれるだろうと期待をされていた中で思うような成績が上げられず苦しい状態ですが、当然楽に勝てる相手など

Yohei NAITO

19 内藤洋平

1988年生まれ。神奈川県出身。横浜栄F.C.・桐光学園高・立命館大。昨年京都サンガF.C.特別登録選手として、関西ステップアップリーグ・ヴィッセル神戸戦に1試合出場。巧みなボールさばきでバランスをとり、攻撃参加を得意とするボランチで、開幕戦よりスタメンに名を連ね、行きなり豪快なミドルシュートを叩き込みJ初ゴールを決める。このゴールがスカパーの3月度の月間ベストゴールに選ばれる。

何処にもありませんし、すべてのチームがJ1を目指して戦っていると思いますので、その気持ちに負けることなく、挑戦者の気持ちで戦って行きたいと思っています。必ずチームとしてもっと上に上がれると思いますし、個人的にももっと結果を出せるように頑張りたいと思います。

Ｑ：特にご自身のアピールポイント、ここを見てほしいというところは？

内藤：ゴールに絡むプレー、アシストだったりゴールだったりそのへんは数字にも残るものですし、ゴールシーンは一番盛り上がるサッカーの醍醐味でもありますから、そういうシーンをより多くお見せしたいし多くの人に認めてもらいたいですね。

駒井：どのポジションで出ても、守備とか陰ながらチームに貢献するプレーを心がけています。決して派手ではないですがそんなプレーもしっかり観ていただけたら嬉しいです。



Ｑ：最後にサポーターの皆さんにメッセージをお願いします。

内藤：これまではなかなか良い結果が出せずに期待を裏切ってしまいましたが、これからはチームみんなで力を合わせて全力で取り返せるように戦っていきますので、引き続き応援よろしくをお願いします。

駒井：前半戦は思うような結果が出ずに、サポーターの皆さんも苦しい思いをさせてしまったのですが、後半戦、まず1勝出来たので。この調子でどんどん勝ってサポーターの皆さんにも喜んでもらえるように頑張っていきたいと思います。チーム一丸となってJ1昇格を目指すのでサポーターの皆さんも一緒にJ1昇格を目指してこれからも頑張っていきたいです。

※最後のサポーターへのメッセージは後援会のホームページにて動画でご覧いただけます。

<http://www.purplesangacg.com>

